

協賛：ウイグルを応援する全国地方議員の会

推薦：日本ウイグル国会議員連盟／国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ

自由と人権を求める 人々の叫び ウイグル編

～私たちに問いかけること～



上映時間 約27分 [C#3207] DVD本体価格60,000円(税込66,000円) 字幕・副音声版付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 <https://www.toei.co.jp/edu/>

自由と人権を求める人々の叫び

ウイグル編

～私たちに問いかけること～

企画意図

21世紀の現在でも、世界の様々な地域で専制主義による圧政で苦しむ人々が数多く存在しています。中国では、人口の大多数を占める漢民族による少数民族への強権的な支配が進んでおり、特にウイグル人への弾圧行為に対しては、世界各国の政府・議会が相次いで「ジェノサイド」と認定、もしくは「人道に対する罪」と非難する決議を採択するなど、深刻な人権問題となっています。本作品では、このウイグルにおける人権弾圧の実態について、在日ウイグル人の男性と、実際に収容施設に入れられた経験のあるウイグル人女性に語っていただき、貴重な映像資料も交えながら伝えていきます。彼らの魂の叫びを通し、現代に生きる私たちが真剣に向き合わなければならない自由と人権のあり方を考えていきます。

内容

◆中国北西部に位置する新疆ウイグル自治区。地下資源の豊富なこの地域では、イスラム教を信仰するウイグル人が多く暮らしています。近年、漢民族の移住が促進され、文化も言語も宗教も異なるウイグル人と漢民族と一緒に暮らすようになりました。しかし2016年ごろ状況が大きく一変したと、都内のIT企業に勤務している在日ウイグル人のアフメット・レテブさんは語ります。2016年の終わりごろからウイグル各地に収容施設が多くできると、ある日突然、誰もが強制的に勉強や政治学習の名目で当局に呼ばれて連れていかれるようなことが、ウイグル全土で広がったということです。アフメットさんの父親と弟も2017年に収容所に入れられ、一切の連絡が途絶えましたが、翌年一つの動画が警察から送られてきました。そこには収容されている父親の姿があり、彼ら(警察)に協力するようにアフメットさんに訴えてきたのです。家族の無事が良心か?と悩み苦しめいたアフメットさん。中国政府は収容所のことを「職業訓練のための再教育施設」と説明しますが、父親を人質に取って忠誠心を示すよう要求してくるやり方には、怒りと不信が募るばかりとアフメットさんは語ります。

◆次に証言していただくのは、ウイグル人の元看護師トゥルスナイ・ズヤウドウンさんです。トゥルスナイさんはカザフスタン人の夫に伴い、カザフスタンで生活していましたが、ビザ更新のために新疆ウイグル自治区へ戻った際に、理由もなく収容所に連行されました。そこで体験し目撃したことは、想像を絶する恐ろしくおぞましい出来事でした。トゥルスナイさんは、あの時の嫌な体験を思い出すので、本当はインタビューに答えるのは

辛いと言います。しかしあの恐ろしい場所に残っている女性たちのことを思い、また私たちにこの実態を知ってほしいと、収容所での体験を語ってくれたのです。

◆「ウイグル人の強制労働によって作られた製品が、世界中に流通している」とアフメットさんは指摘します。近年「人権デューデリジェンス」(自社や取引先の企業において、どのような場所や分野で、どのような人権に関わるリスクが発生するかを特定し、それに対処すること)という言葉が叫ばれています。人権侵害の対象には「強制労働」「児童労働」「外国人労働者の権利侵害」といった、サプライチェーン上で発生するグローバルな問題も含まれます。ウイグル人の強制労働によって作られた製品が日常の中にあるかもしれない。私たちはその可能性を意識する必要があります。「人権デューデリジェンス」は今後、私たちが取り組むべき課題でもあるのです。

◆アフメットさん「全てが明らかになる時代が来る。私たちはそれを信じて発信し続ける」

トゥルスナイさん「正義感をもって、是非皆さんと一緒に立ち上がってください」

お二人は私たちにそう訴えかけます。日本のすぐ近くで起きている現実を知って、私たちに何ができるのか、自由と人権を守っていくにはどうすればいいのか、この日本を世界をどうしたいか、考え話し合っていいただければと思います。

令和4年(2022年)作品

●本DVDは、ご購入いただいた官公庁(都道府県市区町村・視聴覚ライブラリー・教育委員会・警察・消防等)や事業所等での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。

●本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金等について、必ず当社までご相談ください。

・テレビでの放映 ・ビデオオンデマンド等による配信

●著作権者に無断で、作品の一部または全部を複製・改変・放送・有料上映・配信することは、著作権法違反となり処罰の対象になる場合があります。

●DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。パソコンなど一部の機種で再生できない場合があります。

企画・製作  東映株式会社 教育映像部

販売元: 営業推進室

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 TEL.03-3535-3631

●お買上げは…

 【飲酒運転撲滅宣言企業】
博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp